

# 1、事業目的

子ども達に100km徒歩の旅を通して限界に挑戦し、困難を乗り越え、自分達で考え、表現し、行動する「いきる力」を身につけてもらい、各々が生涯残るような「いきる絆」を築いてもらう



## 2、事業概要

三条市、燕市、弥彦村在住の小学校4年生～6年生32名とともに、8月6日～10日の日程で自分達の生活圏である三条市、燕市、弥彦村の100kmのコースを4泊5日をかけて歩きぬく事業です。宿泊先は市の施設やお寺などをお借りします。また、参加した子ども達を10人程度の班に分け、班ごとに社会人・学生スタッフがリーダーとなり、子ども達の歩行中の安全確保や生活指導を行ないます。



# 3. 事業効果

< 参加者・保護者感想文より抜粋 >

- ・ あるいていて足がいたくなったり、あつさでたおれそうになったけど、みんなにおうえんされて完歩できました。100km徒歩の旅で勇気と元気をもらいました。また100kmにさんかしたいです。  
高橋 尚哉くん
- ・ スタッフの皆様本当に事故もなくこの暑い中子ども達と一緒に歩いて頂いてありがとうございました。感謝します。私達ではこんな経験を人生の中でさせてあげることが無理です。本当に良い経験をさせて頂きました。ありがとうございました。是非、来年もずっと続けてもらい、全ての子ども達が100km徒歩の旅の経験を通して大人になれば三条市、燕市の子ども達は最高ですね。  
瀬高 大地くんのお母さん
- ・ この100km徒歩の旅でいろんなことを知りました。一生けん命がんばれば必ずゴールへ行ける事、仲間がいればその仲間どうしてがんばれる事。私はこんなにがんばった事はありません。でも仲間がいたからどんなつらい事ものりこえられました。がんばって良かったです。また来年も100km徒歩の旅にさんかしたいです。  
今井 彩乃ちゃん
- ・ 子どもが歩き終えた時に言った言葉で印象深いものがありました。「今日 km歩かなければならないと思った時に、あと km、あと kmと考えるよりも、1歩1歩歩くことだけ考えたほうが、歩きやすかった。目標に近づけた。」これはなんだか人生そのものであり、遠くの目標や夢に近づくための心得かなと思ったりもしました。1歩1歩、1日1日の積み重ねが大切なのだと子どもから教えられました。  
岸本 克佳くんのお母さん

<事務局へ寄せられたメール>

お世話になっております。

夏の100キロ徒歩のたびでは大変お世話になりました。

皆様お元気でお過ごしでしょうか。

このたびはお忙しい中文集とDVDをととても素敵に作ってくださってありがとうございました。

無事届きまして昨日家族で見せていただきました。

感動屋の父親はまず文集を見て一泣き…

DVDでは音楽が替わって泣き、頑張っている子供たちをみては泣きの連続です。

そのくせ自分の子供がどれか全く分かってないんです。(薄笑)

特に子供は新聞のインタビューにもものったためかいろいろな方からお褒めの言葉をいただいたことで頑張ることへの自信と喜びをもてたようです。

今の時代だって頑張ることはカッコいい、困難だと思ったことも自分でちゃんと乗り越える力があるんだ、

そして自分の周りにはサポートしてくれる熱い大人たちがいるんだということを

身をもって知ることが出来た今回の100キロ徒歩の旅は素晴らしい企画でした。

準備の大変さ、お仕事の調整等予想以上にご苦労があったと思います。

でもぜひこれからも毎年続けて子供たちに貴重な経験をさせていただけたらと思います。

大変短いですがまずはお礼をと思いメールさせていただきました。

ありがとうございました。

西鱈田小学校 角田 流 角田 菜穂子

## 4、今後について

初開催となった今年はまったくのゼロからのスタートとなったが、多くの方々からご支援・ご協力を頂きなんと開催することができました。次年度は今年度の実施上の問題点を一つずつクリアにしていき、さらには燕三条らしさがみえる100km徒歩の旅を開催したいと考えます。

